

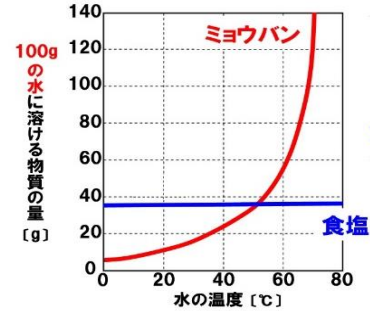
溶質のとり出し方

物質が水に溶ける量

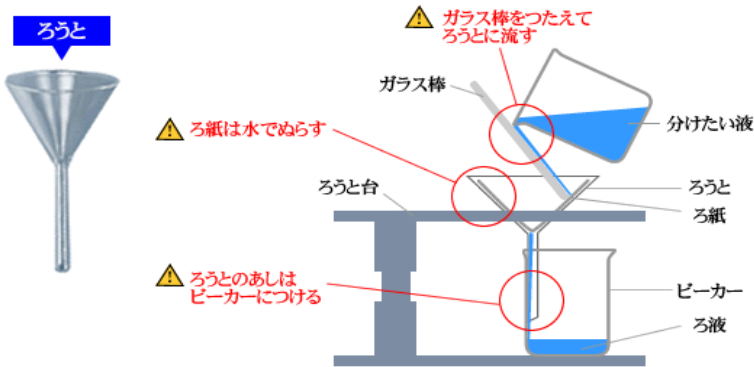
飽和 溶質が限界まで溶けている状態
 飽和水溶液 溶質が飽和した水溶液

どれくらいの量の溶質が水に溶けるかは①物質の種類②温度（③水の量）によって決まる

溶解度 水100gにその物質がどれくらい溶けるかの量
 溶解度曲線 溶解度をグラフにしたもの



ろ過 ろ紙などを使い固体と液体を粒の大きさの違いで分けること



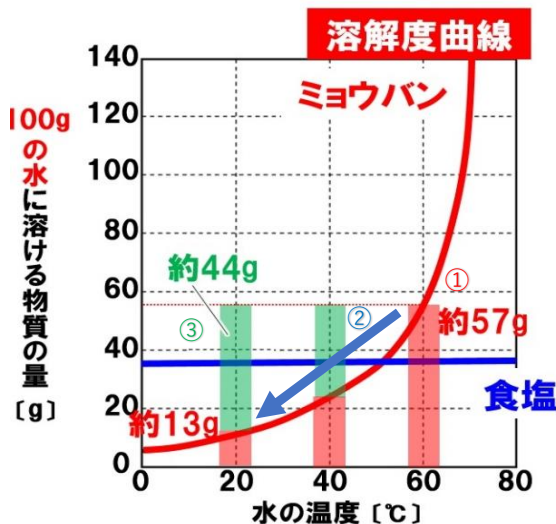
固体はろ紙の上に残る
 ※ろ紙の穴よりも小さい個体は下に流れていってしまうよ
 液体は下のビーカーにたまる

結晶と再結晶

純(粋な)物質 一種類の物質でできているもの
 混合物 二種類以上の物質が混ざり合ったもの
 結晶 純粋な物質で、規則正しい形をした固体
 再結晶 物質を溶媒に溶かし、温度を下げたり水を蒸発させたりして再び結晶としてとり出すこと

溶解度の差が小さい物質 ⇒ 水を蒸発させて再結晶

溶解度の差が大きい物質 ⇒ 温度を下げて再結晶



- ① 60°Cのときミョウバンを溶けるだけ溶かす⇒約57g
- ② 60°Cから20°Cまで冷やす
- ③ 溶けきれずに結晶として出てくる⇒約44g

溶解度は溶かすことのできる量⇒コップ
 コップに入りきれない量が結晶として出てくる量と考えられる